【別表A(5)－1(公益充実資金の明細)】

下表の水色欄(■)を記載ください。黄色欄(■)は自動計算されます。

1. 公益充実資金の前年度末明細

公益充実資金の前年度末値を確認します。

前年度末				
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	残高
40周年記念事業資金	費用	2027	400,000,000 円	240,000,000 円
			円	円

2. 公益充実資金の本年度末明細

公益充実資金の本年度末値を確認します。

当該事業年度開始日(西暦)	2025/4/1

本年度末						
前期末残高		取崩額(合計値)	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高	積立限度額
240,000,000 円		0 円	0 円	80,000,000 円	320,000,000 円	400,000,000 円
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	取崩額(個別)	備考	
40周年記念事業資金	費用	2027	400,000,000 円	0 円		
			円	円		

3. 公益充実資金の積立内訳、積立基準額の算定値(中期的収支均衡の50%超繰入れ時用)

中期的収支均衡の観点で、50%を超えて繰入れをする際に使用する公益充実資金の各種算定値を確認します。

各資金の明細		期首積立内訳(算定値)	残り必要額(算定値)	支出までの残存期間	活動毎積立基準額(算定値)	積立基準額(算定値)
40周年記念事業資金	費用	320,000,000 円	80,000,000 円	35 月	27,428,571 円	27,428,571 円
		円	円	月	円	

4. 公益充実資金と公益目的事業費率、使途不特定財産上限との関連値

公益目的事業費率及び使途不特定財産上限との関係で、公益充実資金における必要な値を確認します。

各資金の明細		積立内訳(算定値、公益実施費用額に算入)	取崩内訳(公益実施費用額から控除)
40周年記念事業資金	費用	80,000,000 円	
		円	
合計		80,000,000 円	0 円

【別表A(5)－2(公益充実資金の明細)】

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	40周年記念事業資金
当該活動の内容	当財団の研究助成は、現在の最高額が重点研究開発助成の1,000 万円である。助成対象である塑性加工、レーザプロセッシングにおいては加工機そのものや大型測定設備の導入には充分な額とは言えず、助成対象となりうる研究はもっぱら既存設備を利用しての遂行となっている。40 周年事業として金額の大きな助成を行うことにより、最新の設備による研究、あるいは加工機・大型測定設備を持たない研究機関でのこの分野研究の拠点化の契機とする。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2020 年 4 月 ～ 2028 年 3 月 月数 (95 月)
所要額の算定方法	塑性加工、レーザプロセッシングの両分野で最高額1 億円を各2件、あるいは5 千万円を各4件とする。

0	
特定の事業又は資産取得等の名称	
当該活動の内容	
計画期間(目的設定～実施)	西暦 年 月 ～ 年 月 月数 (0 月)
所要額の算定方法	